

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒210-8577
 住 所 川崎市川崎区宮本町1番地
 氏 名 川崎市病院局
 川崎市病院事業管理者 増田 純一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	川崎市病院局		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区宮本町1番地		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	一般病院		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	12,646	kl
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂

(第2面)

計画期間及び報告年度	28年度 ~ 30年度 (報告年度 30年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 22,393 t-CO ₂ (調) 21,537	(実) 22,794 t-CO ₂ (調) 21,891	(実) 23,594 t-CO ₂ (調) 22,660	(実) 24,162 t-CO ₂ (調) 23,229	(実) 22,173 t-CO ₂
削減率		(実) -1.8 % (調) -1.6 %	(実) -5.4 % (調) -5.2 %	(実) -7.9 % (調) -7.9 %	(実) 1.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	前年度同様、空調運転時間短縮や節電努力を継続して実施してきたが、温室効果ガス排出量は1.8%増加した。今後に向けてより一層の縮減努力を継続して行っていく。
第2年度	前年度同様、空調運転時間短縮や節電努力を継続して実施してきたが、温室効果ガス排出量は5.4%増加した。今後に向けてより一層の縮減努力を継続して行っていく。
第3年度	温室効果ガス排出量は気候変動や設備修理による装置の稼働状況で大きく左右されるものであるため、川崎病院では、特に空調設備や冷凍機は老朽化による機器の効率低下が見られ、また井田病院では平成30年3月に再編工事により保育所棟、立体駐車場、バスロータリー、倉庫棟が増築され、エネルギーもその分増加した。そのような諸々の影響の結果、前年同様に節電努力を継続したものの、温室効果排出量は7.9%増加した。 井田病院の工事が完了したのものについてはエネルギーが安定するため、今後は空調運転時間や温度等の運用改善など、縮減努力を行っていく。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<p>○川崎病院では、平成28年度中のESCO導入に向けた検討を進めている。また、老朽化した設備の保守点検を強化する。</p> <p>○井田病院では、フルオープン後の、全体的な空調運転時間のスケジュールの見直し等温室効果ガス排出削減に向け、主要設備の管理標準を見直し、各設備の運用管理を行う。</p> <p>○多摩病院では、各熱源設備の効果的な運用を図るため、オーバーホールの実施計画や管理標準を定期的に見直す。また年次計画により、院内各照明LED化工事を実施しているが、今後も未実施箇所においても計画を進めていく。</p> <p>○施設共通事項として、利用者に直接影響のない事務室内の昼休み時間等の消灯や、ブラインドの管理及びエアコンの温度設定が可能な場所での冷房28度、暖房20度を徹底し、発熱、消費電力の削減を図る。</p>
	第1年度	<p>○川崎病院では、スマート化構想の一環として、中長期保全計画及びESCO事業導入計画策定に向けて検討しており、各種調査・データ収集を行う。</p> <p>○温室効果ガス排出削減に向け、ボイラー設備・冷温水発生機等の運用管理基準を一部見直した。今後継続して全体的に見直していく予定。</p> <p>○患者さんに影響のない範囲で、各個室での空調温度の管理・不使用時の照明の消灯徹底・OA機器等の停止及びエレベーターの夜間停止を行い、消費電力の削減を図った。</p> <p>○院内照明LED化工事を継続し、平成28年度は各階エレベーターホールや廊下共用部などを対象に実施した。</p>
	第2年度	<p>○川崎病院ではエネルギーサービス導入にむけて、その導入支援業務を委託するために必要な各種データや現地調査を実施した。</p> <p>○川崎病院ではLED化工事について継続して実施し、平成29年度は屋外灯などについて更新を行った。</p> <p>○井田病院では、平成29年度中に再編整備工事の中で、24時間稼働の立体駐車場、バスロータリー及び別棟に保育所が完成し、今まで以上に負荷が増大することから、増加分の設備の運用管理を検討した。</p> <p>○多摩病院では照明LED化工事を継続し、平成29年度は5・6階共用廊下等で実施した。また病棟系統空調機にインバータを取付し、消費電力削減を図った。</p>
	第3年度	<p>○川崎病院の老朽化した熱源設備(コジェネ、冷凍機、ボイラ等)を更新し、高効率熱源設備を導入するエネルギー棟の建設を計画した。</p> <p>○井田病院では、平成30年度中に3か年計画によるケアセンターの空調更新工事が完了し、消費電力削減を図った。</p> <p>○多摩病院では照明LED化工事を継続し、当年度は3・4階共用廊下等を実施した。また吸収式冷凍機(冷却水ポンプ)にインバータ部品を取付し、主電気室は従来の冷房空調から送排風での外気取り入れにより、電力消費量の削減を図った。</p>
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	無し

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 グリーン購入の推進を行う。 2 廃棄物の減量化、分別化の推進を図る。 <p>各部署での省エネチェック実施により、省エネ・節電意識の向上をおこない、地球温暖化対策の推進を図る。廃棄物の減量化・分別化の推進の推進を図る。</p>
第1年度	<ol style="list-style-type: none"> 1 事務用品やOA機器のグリーン購入の推進を行った。 2 廃棄物の減量化・分別化の推進を図った。 <p>省エネチェックにより、各部署での空調温度の適正化、照明やOA機器等の節電取り組みや意識付けをおこなった。廃棄物の減量化・分別化の推進の推進をおこなった。</p>
第2年度	<ol style="list-style-type: none"> 1 事務用品やOA機器のグリーン購入の推進を行った。 2 廃棄物の減量化・分別化の推進を図った。 3 不要な事務用品などを院内で集積、共有することにより廃棄物の削減を図った。 <p>省エネチェックにより、各部署での空調温度の適正化、照明やOA機器等の節電取り組みや意識付けをおこなった。廃棄物の減量化・分別化の推進の推進をおこなった。</p>
第3年度	<ol style="list-style-type: none"> 1 事務用品やOA機器のグリーン購入の推進を行った。 2 廃棄物の減量化・分別化の推進を図った。 3 不要な事務用品などを院内で集積、共有することにより廃棄物の削減を図った。 4 病院内において、全職員へ院内周知等により省エネ意識の向上を図った。 <p>省エネチェックにより、各部署での空調温度の適正化、照明やOA機器等の節電取り組みや意識付けをおこなった。廃棄物の減量化・分別化の推進の推進をおこなった。</p>

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績 (排出係数反映)

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	24,502	t-CO ₂
(調)	24,447	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等单位 (第1号、第2号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎市立川崎病院	川崎区新川通12-1	8311	一般病院	12,407 t-CO ₂
川崎市立井田病院	中原区井田2-27-1	8311	一般病院	6,218 t-CO ₂
川崎市立多摩病院	多摩区宿河原1-30-37	8311	一般病院	5,855 t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500kl 未満	
300~400kl 未満	
200~300kl 未満	
100~200kl 未満	
100kl 未満	1

(3) 事業所等单位 (第4号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--